市議会だより

あくね

議員と語る会特集号

市内12か所・4団体との意見交換会を開催!!

NO.182
平成27年３月17日
編集 / 広報特別委員会
発行 / 阿久根市議会
TEL 0996-72-0815
FAX 0996-72-2029

阿久根市議会

議員と語る会・各種団体との意見交換会を市内12か所、4団体と開催

市議会では、市民の皆様に議会の活動状況等を理解していただくとともに、各地区が抱えている課題等について意見交換会を行いました。

また、名称を議会報告会から市民がより参加しやすいように「議員と語る会」に変更し、市内12か所と市内の4団体との分野別意見交換会も開催しました。

今回、市民の皆様から寄せられた多くのご質問、ご意見をいただいた中から主な項目についてお知らせいたします。

議会からの報告（8件）

1. 乗り合いタクシー・グループタクシー事業
2. 市民交流センターの進捗状況
3. 生ごみ堆肥化事業
4. 高齢者元気度アップ推進事業
5. 鳥獣害被害の状況及び捕獲頭数の実績等
6. 軽自動車税等の改正
7. 各地区の高齢化の状況
8. 正副議長及び各議員の行事出席状況

意見交換のテーマ（各地区）

1. 各地域が抱える課題及びその解決について
2. 市政に対する意見・要望について
3. 議会に対する意見・要望について

開催日程及び参加者数

◎10月21日
・大川地区22名（大川小学校講堂）
・西目地区8名（西目地区構造改善センター）
・阿久根南地区25名（市民会館）

◎10月22日
・阿久根北地区17名（北さつま漁協ホール）
・山下地区10名（遠矢公民館）
・尾崎地区17名（尾崎公民館）

◎10月23日
・鶴川内地区12名（鶴川内地区集会施設）
・田代地区11名（山村開発センター）
・赤瀬川地区18名（農村環境改善センター）

◎10月24日
・折多地区18名（折多地区集会施設）
・脇本地区37名（脇本地区公民館）
・隼人地区9名（小漉公民館）

（団体）

◎10月15日
・阿久根市ＰＴＡ連絡協議会15名（市民会館）

◎10月27日
・北さつま漁協17名（北さつま漁協ホール）

◎10月30日
・阿久根市観光協会16名（市民会館）

◎10月31日
・ＪＡ園芸・果樹各部会長8名（脇本地区公民館）

議員と語る会・各種団体との意見交換会を終えて

平成24年3月に議会基本条例を立ち上げ、その中で市民と議会の関係という視点から、議会はその活動に関する情報を市民に対し、説明を十分に果たさなければならず、また、市民の政策的意見を聴く機会を設けると意味で議会報告会を開催しています。

今年度は、小学校区を基準にし、地区別で12カ所204名、4つの団体56名と意見交換会を行いました。多くの市民の皆様の議会、市政に対する「意見・提言・要望」が活発に出され、市民の方々の市政に対する意識の高さを感じ、今後、貴重な意見を市政に反映し、生活・福祉の向上、産業振興、市の活性化につなげてまいります。

来年度も議員と語る会・団体との意見交換会を行ってまいりますが、更に充実した会となるよう皆様の参加をお待ちいたしております。

班長会　座長
大田　重男　議員

予算・計画

問 空き家を改修して移住を検討している方もおり、空き家対策について、情報提供や活用策、補修、取壊し、撤去への補助等はできないのか。補修費用に補助を出してもらいたい。

答 国は、全国の空き家対策のため、その利活用を目的に法整備を行いました。本市においては、危険と思われる空き家、衛生上有害となる恐れのある空き家等について、適正な管理を行えるよう対策計画の策定を進めるとともに、空き家の有効な利活用についても、定住促進、地域活性化を図るため、検討を進めていきたいと考えています。（総務課）

問 地域づくり活動事業により区の運営が助かっており、期限を限定せずに継続してもらいたい。

地域づくり活動事業を利用した敬老会（弓木野集落）

答 現在も多くの区に活用されていますが、平成25年度から平成27年度までの事業であるので、この間の事業の活用状況や事業効果などを踏まえながら今後の方針を検討していきたいと考えています。（企画調整課）

問 区の運営補助について、戸数が少ない区は、もともと予算が少ないので補助金をもらっても、多くの活動はできない。区民の負担を少しでも少なくしてやりたいと思うのであれば、公民館の電気代や水道代を補助してもらいたい。

答 区放送設備維持管理補助のほか、直接区の経常経費に対する補助は考えておりません。しかし、日常的に公民館を使用して行う地域活動がある場合は、地域づくり活動支援補助金によりその活動費用として補助できる場合もあります。また、同補助金においては、高齢化率が60％を超える区について、重点支援区補助金を交付しており、運営に活用していただいているところです。（総務課）

防災

問 防犯灯について、防犯灯をＬＥＤに変えられないか。高齢化も進み蛍光灯の交換など大変である。防犯灯の支柱（木製）を鋼柱に交換に対したいが、機材に対する補助等をお願いしたい。

答 市防犯組合連絡協議会では、防犯灯整備に対する補助を行っており、支柱の取り替えに対しても補助を行っているところです。また、最近ではＬＥＤ照明への交換を検討されている区も多く、ＬＥＤ照明に対する補助額の上乗せを検討しているところです。（総務課）

問 西目小学校の裏山、避難道路の整備を。

答 西目小学校周辺は比較的標高が低く、津波が発生した場合、同校裏山が小高くなっていることから、当該地を利用し、道路の新設はできないかとの御意見かと察しますが、民有地にそのためだけの道路を建設することは困難なものと考えております。津波が想定される場合は一刻も早く、高台へ避難をお願いいたします。（総務課）

市税

問 空き家対策で、解体すると固定資産税が上がってしまうので何か対策を検討してほしい。

答 空き家対策については、政府が税制改正を検討との報道が８月にありましたが、具体的中身については、明らかになっていません。

阿久根市としては今後地方税法の改正があれば、それにしたがって課税してまいります。

現状では、ご指摘のとおり宅地の固定資産税は住宅が建っていれば、本来の６分の１もしくは３分の１とする特例があり、解体すると特例がなくなり本来の税額となります。

ただし、住宅の解体後、地目変更があれば、変更後の地目で課税しますので、地目変更登記をされるか、税務課へ届け出てください。（税務課）

観光

問 みどこい祭りを秋から夏開催に戻してほしい。

答 みどこい祭り実行委員会において、今年度の反省を踏まえて来年度の開催時期等について、協議しています。（商工観光課）

環境

問 ごみステーションでの空き缶、紙類の盗難対策は。

答 平成26年度第４回定例議会において、持ち去り行為を禁止する条例

が可決されたことにより、今後、広報活動や監視活動を行っていきます。（市民環境課）

問　市のごみ袋について薩摩川内市のように口を結べる袋にしたらお年寄りも使いやすいと思うがどうか。

答　以前に採用したこともありましたが、単価が上がることや収容量が少なくなるなどの苦情が多かったため、現在の袋に戻した経緯があります。（市民環境課）

道路

問　工事等の要望を、区として行っているが回答がない。地元に説明ができないので、回答をお願いしたい。

答　要望をいただいたところは速やかに調査を行い、区長に報告しており、出来るところはすぐに作業班等で対応しています。予算等もあり、すぐには出来ないところも区長に報告し、説明を行うよう努めています。今後も、「地元に説明がない」ということがないように努力していきます。（都市建設課）

問　国道3号に関する除草について、大川・西目線は年1回の草刈りを年2回以上（もっと増やしてほしい）にしてほしい。肥薩おれんじ鉄道も伐採を行いきれいになったが国道の見栄えが悪い。

答　国道3号の牛之浜～大川間の除草については、車両の通行に支障がある場合は速やかに対応していただいております。景観に関しての要望も積極的に行っていきたいと考えており、阿久根市はもとより地元の方々や他の団体とも連携し、景観の保全に取り組みたいと考えています。（都市建設課）

公共施設

問　市民交流センターは、避難場所としては大丈夫か。また、建設後は、管理は委託するのか。

答　避難所は、災害の種類及び被害の状況等により適宜開設されることになりますので、その状況次第で避難所として開設するのか判断されます。また、施設の管理方法については、今後検討することにしています。（教育総務課）

行政

問　区への未加入者の解決策を区長会・議会・行政一体で何とかして欲しい。（市街地の共通問題）例えば、条例制定を行ったり、不動産会社との連携等も必要ではないか。転入者の集落加入の促進をしてほしい。

答　地域コミュニティー活動は、生活を営むうえで重要なものと十分認識しておりますが、近年の生活形態の変化により、地域とのつながりが希薄になっていることも承知しております。少子高齢化が進む中、近隣住民の協力なくしては防災、防犯活動や、安心安全な地域社会を目指した取り組みはあり得ないと考えております。

　これらのことを踏まえ、地域コミュニティーの充実は市としても強く進めていきたいと考えており、転入者等への区加入促進を図るうえで、各種団体とも連携を図っていきたいと考えております。（総務課）

地域活性化事業を利用したコミュニティ活動（脇本小学校区）

問　補助申請の簡略化について、書類の作成が難しく、何度も出向いており交通費がかかる。もっと簡単に分かりやすくしてもらいたい。

答　補助金申請等の書類作成に苦慮されていることは理解しますが、補助金の交付については、公正かつ適切に行わなければならず、補助金交付要綱及び補助金等交付規則に基づき処理しているところであります。

　現在も制度の活用や具体的な手続等について、相談があれば、随時対応しているところであり、書類等の作成についても作成例を示すなど可能な範囲で支援しているところですが、今後も、皆様の意見や要望等を伺いながら、適切な制度の運用を図っていきたいと考えています。（企画調整課）

問　共同水道事業は、高齢化が進み運営管理が将来不安であり、市で維持管理して欲しい。

答　維持管理を市が行う旨の協議を現在行っているところです。時期についてはなるべく早くとのことで動いていますが、現時点では未定です。（市民環境課）

議会

問　議員定数について、議会は審議しているのか。

答　昨年9月に議員定数等に関する特別委員会を設置し、定数のあり方について審議を行い、第1回定例会で現在の16名が望ましいとの意見が多数との報告がありました。（議会）

問　議員は、議員報酬が高い・低いをどう考えているのか。

答　議員報酬は、議長が37万1千円、副議長が29万円、委員長が26万9千円、その他の議員26万3千円ですが、平成25年10月から10％カットを行っています。議員報酬は他市と比較して高い状況ではありませんが、今後も引き続き検討してまいります。なお、阿久根市議会では政務活動費の支給はなく、地方議員の年金制度についても平成23年に廃止されています。（議会）

問　議員に市内を隅々まで見て回ってもらって、住民の声を聞いてもらいたい。また、各種イベント等に出向いて、市民と交流することで、情報・ニーズの発掘に努めて頂きたい。

答　「議員と語る会」の開催についても、議員が各地域に出向き、直接市民の声を聞いて市政に反映させる重要な機会ととらえています。また各議員の活動の中で、今後も積極的に情報収集に努めてまいります。（議会）

問　議会で、政策を立案し諸問題を解決してほしい。

答　平成24年に制定した議会基本条例の中で「市政に関し重要な施策・課題に対し、政策検討委員会を開催し、政策提言に努める」と規定しております。今後、具体的に検討してまいります。（議会）

問　議員と話が出来る場所、今回のような形で「語る会」の機会を増やしてほしい。

答　「議員と語る会」については、現在年1回の開催ですが、ご指摘の件については、今後検討してまいります。（議会）

各団体の分野別

◎阿久根市PTA連絡協議会

問　子供の事故防止にスクールガードリーダーの方などに協力をもらっているが、市全体でボランティアの方が出るようにしてはどうか。

答　児童生徒の事故防止については、各学校において、スクールガードリーダーを中心にしながらスクールガードや保護者等、地域の皆様方に御協力をいただき、複数体制で見守っていただいているところです。今後も、各校区ごとに体制整備に努めてまいります。（学校教育課）

◎阿久根市観光連盟

問　景勝地の清掃を国に要望してほしい。また、お客様が一日阿久根で遊べるマップが欲しい。

答　国道の草払い等については、これまでも国に要望してきており、引続き要望してまいります。国道沿いのそれ以外の土地等については、土地の所有者や観光に携わる方をはじめ、市民全体で取組む機運を高め、市民の皆様のボランティア清掃もお願いしたいと考えております。また、マップづくりについても検討を重ねているところです。（商工観光課）

◎北さつま漁業協同組合

問　打越港の整備が途中で終わっている。確認と報告が必要ではないか。

答　黒之浜港の打越地区の整備は、本港が狭く、漁船の係留に苦慮していたことから整備が始まりましたが、現在の物揚場ができた時期に地元漁協から物揚場の延長を行わないようにとの要望があり、整備計画について検討を行った結果、平成25年度に公有水面埋立申請の縮小を行い、本年11月26日に今後の整備について地元漁協に説明し、要望に対する実施設計の検討中であります。

本年度は突堤及び護岸の設計委託と一部工事を実施する予定になっています。（都市建設課）

◎鹿児島いずみ農協園芸・果樹部会

問　資材費が高くなっており、そのため収入が少なくなっている。また後継者不足、労働者不足が深刻になっている。

答　人材不足についてはハローワークを利用して応募をかける方法もある。

また地域で協議会をつくり補助金を受け事業に取り組んではどうか。（議会）

県内19市の議員定数及び議員報酬額等の状況（平成25年12月末現在）

市名	人口	定数	報酬			期末手当 支給割合（月数）			加算率
			議長	副議長	議員	6月	12月	計	
鹿児島市	607,169	50	790,000	738,000	686,000	1.40	1.55	2.95	20
薩摩川内市	98,803	26	458,000	396,000	370,000	1.40	1.55	2.95	15
鹿屋市	105,607	30	450,000	396,000	370,000	1.40	1.55	2.95	15
奄美市	45,668	24	420,000	349,000	321,000	1.425	1.475	2.90	15
枕崎市	23,016	16	362,600	286,160	269,500	1.40	1.50	2.90	15
いちき串木野市	30,157	18	380,000	298,300	275,500	1.40	1.50	2.90	15
阿久根市	**22,594**	**16**	**333,900**	**261,000**	**236,700**	**1.40**	**1.55**	**2.95**	**15**
指宿市	43,692	22	388,000	310,000	286,000	1.40	1.55	2.95	15
出水市	54,575	26	388,550	309,700	287,850	1.40	1.55	2.95	15
伊佐市	28,676	18	368,000	283,000	266,000	1.40	1.55	2.95	15
南さつま市	37,368	20	385,090	308,460	286,150	1.40	1.55	2.95	15
霧島市	128,156	26	490,000	382,000	352,000	1.40	1.55	2.95	15
西之表市	16,593	16	354,000	272,000	256,000	1.45	1.50	2.95	15
垂水市	16,699	16	366,000	283,000	261,000	1.40	1.55	2.95	15
日置市	50,720	22	391,880	313,310	290,030	1.40	1.55	2.95	15
曽於市	39,303	20	397,000	318,000	295,000	1.40	1.55	2.95	15
志布志市	33,492	24	390,716	307,102	285,180	1.40	1.55	2.95	15
南九州市	38,304	22	388,000	310,000	286,000	1.40	1.55	2.95	10
姶良市	75,820	30	400,000	310,000	285,000	1.40	1.55	2.95	15

※議員には議員報酬のほか、年２回期末手当が支給されます。　（全国市議会議長会資料より）
※阿久根市議会は、平成25年10月～平成27年３月まで10％減額を実施しています。

議員と語る会の参加者の皆様にアンケートのご協力をいただきましたので、その結果を集計しましたのでお知らせします。

① 性別

男性	186名	83％
女性	37名	17％

② 年齢

１０代	0名	0％
２０代	3名	1％
３０代	8名	4％
４０代	25名	11％
５０代	43名	19％
６０代	82名	37％
７０代	49名	22％
８０歳以上	13名	6％

③ 感想

よかった	108名	48％
ふつう	91名	41％
よくなかった	12名	5％
その他	12名	5％

④ 報告内容について（団体56名を除く）

わかりやすかった	91名	54％
ふつう	61名	37％
わかりにくかった	6名	4％
その他	9名	5％

⑤ 開催について

評価する	164名	74％
どちらともいえない	46名	21％
評価できない	8名	4％
その他	5名	2％

⑥ 開催時間

ちょうどよかった	167名	75％
長かった	22名	10％
短かった	15名	7％
その他	19名	9％

アンケート（12地区167名・団体56名）　223名（合計）